

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年11月2日

上場会社名 三井海洋開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6269 URL http://www.modec.com/jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 俊郎
 問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 (氏名) 高野 育浩 (TEL) 03-5290-1200
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 「2017年12月期 第3四半期決算補足説明資料」
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	146,938	△1.6	9,627	98.7	18,387	73.1	12,967	61.6
28年12月期第3四半期	149,372	△34.1	4,844	67.7	10,620	13.7	8,026	20.8

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 8,093百万円(—%) 28年12月期第3四半期△12,409百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	229.89	—
28年12月期第3四半期	142.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	321,996	140,517	40.0
28年12月期	333,249	134,609	36.9

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 128,710百万円 28年12月期 123,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	18.75	—	18.75	37.50
29年12月期	—	20.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△17.4	15,000	△16.8	25,000	△15.0	18,000	△14.3	319.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年12月期3Q	56,408,000株	28年12月期	56,408,000株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

29年12月期3Q	775株	28年12月期	663株
-----------	------	---------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期3Q	56,407,272株	28年12月期3Q	56,407,337株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移し、雇用や所得環境の改善が持続するなど、緩やかな回復基調が続いております。世界経済は、欧米を中心に回復しておりますが、米国の政策運営の不確実性や地政学的なリスクの高まりなど先行き不透明な状況にあります。

原油価格については、世界の供給過剰懸念が和らぎWTIは1バレル50米ドルを中心に安定して推移しました。当社グループはエネルギー資源の持続的な供給の観点から石油会社による海洋油田・ガス田の開発が継続的に行われると考え、浮体式海洋石油・ガス生産設備に関する事業の中長期的な成長を期待しております。

こうした状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、既存プロジェクトの仕様変更並びにオペレーションサービス等により、受注高は101,402百万円（前年同期比133.7%増）となりました。売上高はFPSO建造工事の進捗により146,938百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

利益面では、FPSO建造工事の進捗により営業利益は9,627百万円（前年同期比98.7%増）となりました。経常利益は、リース事業を行っている持分法適用関連会社による安定的な持分法投資利益の計上により、18,387百万円（前年同期比73.1%増）となりました。これらにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,967百万円（前年同期比61.6%増）となりました。

(参考)

当第3四半期連結累計期間における連結損益、持分法適用関係会社の損益の当社出資比率相当額並びに未実現利益の損益への影響額は以下のとおりとなっております。

(単位:百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	持分法適用 関係会社 当社出資 比率相当額	持分法投資 利益調整	小計 (持分法投資 利益調整後)	未実現利益 影響額控除 (消去及び 実現に係る 影響額)	合計 (未実現利 益影響額 控除後)
営業利益	9,627	17,115	—	26,743	△6,516	20,226
経常利益	18,387	9,108	△6,443	21,051	△6,516	14,534
法人税等	5,616	2,554	—	8,171	△1,610	6,560
非支配株主に 帰属する 四半期純利益	542	—	—	542	△160	382
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	12,967	6,443	△6,443	12,967	△4,746	8,221

(注) 本表は、連結損益、持分法適用関係会社の損益の当社出資比率相当額、及び未実現利益の消去並びに実現に係る影響額を、当社が独自に算出して単純合算及び控除したものであり、有限責任あずさ監査法人によるレビューは受けておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の状況は、主に短期貸付金の減少により、前連結会計年度末比11,252百万円減少して321,996百万円となりました。

負債は、主に買掛金と長期借入金の減少により、前連結会計年度末比17,159百万円減少して181,479百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末比5,907百万円増加して140,517百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,807	33,834
売掛金	95,544	100,211
たな卸資産	2,360	1,190
短期貸付金	55,012	42,956
その他	24,290	22,426
貸倒引当金	△1,971	△1,807
流動資産合計	218,042	198,811
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	12,101	9,699
その他(純額)	2,059	2,089
有形固定資産合計	14,161	11,788
無形固定資産		
のれん	1,414	1,245
その他	6,005	6,085
無形固定資産合計	7,420	7,331
投資その他の資産		
投資有価証券	55,162	61,798
関係会社長期貸付金	28,165	32,686
長期預金	3,781	4,267
その他	6,514	5,311
投資その他の資産合計	93,624	104,064
固定資産合計	115,206	123,184
資産合計	333,249	321,996
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,738	86,076
短期借入金	—	5,637
1年内返済予定の長期借入金	7,812	11,586
未払費用	14,377	14,637
未払法人税等	9,713	6,956
前受金	5,252	4,101
賞与引当金	7	136
役員賞与引当金	13	9
保証工事引当金	6,860	5,887
修繕引当金	43	—
その他の引当金	5	5
その他	1,710	1,752
流動負債合計	142,536	136,785
固定負債		
長期借入金	42,478	32,247
退職給付に係る負債	265	302
その他	13,358	12,143
固定負債合計	56,102	44,693
負債合計	198,639	181,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,122	30,122
資本剰余金	30,852	30,852
利益剰余金	57,227	68,008
自己株式	△1	△2
株主資本合計	118,200	128,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11	△17
繰延ヘッジ損益	△10,453	△10,871
為替換算調整勘定	15,490	10,784
在外子会社の退職給付債務等調整額	△176	△167
その他の包括利益累計額合計	4,849	△270
非支配株主持分	11,560	11,806
純資産合計	134,609	140,517
負債純資産合計	333,249	321,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	149,372	146,938
売上原価	136,144	127,440
売上総利益	13,227	19,497
販売費及び一般管理費	8,383	9,870
営業利益	4,844	9,627
営業外収益		
受取利息	2,754	3,790
受取配当金	36	99
持分法による投資利益	5,592	6,443
保険解約返戻金	—	271
デリバティブ評価益	3,030	—
その他	671	651
営業外収益合計	12,085	11,255
営業外費用		
支払利息	1,026	1,099
為替差損	5,193	1,295
その他	88	101
営業外費用合計	6,308	2,496
経常利益	10,620	18,387
特別利益		
関係会社清算益	—	247
関係会社株式売却益	—	491
特別利益合計	—	739
税金等調整前四半期純利益	10,620	19,126
法人税、住民税及び事業税	4,471	3,393
過年度法人税等	—	28
法人税等調整額	△2,568	2,193
法人税等合計	1,903	5,616
四半期純利益	8,717	13,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	690	542
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,026	12,967

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	8,717	13,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△5
繰延ヘッジ損益	2,090	△1,079
為替換算調整勘定	△8,655	△2,237
在外子会社の退職給付債務等調整額	42	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,566	△2,105
その他の包括利益合計	△21,126	△5,417
四半期包括利益	△12,409	8,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,846	7,847
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,563	245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用に関しては、一部の連結子会社において、主として当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。